



カザフスタンの生殖補助医療

Interviewee

Vyacheslav Notanovich Lokshin

Q. 体外受精はどのくらい普及していますか？

カザフスタンの人口は約 1,900 万人。近年では、毎年 13,000 件の体外受精が行われている（100 万人中 600 人に相当する）2010 年以降、件数は限られているが、国の保険から一部払い戻しが可能になった。今年、その件数が 1,000 件から 7,000 件にアップした。

遺伝子診断、組織検査などを含むあらゆる生殖補助医療がカザフスタンでは認められている。

体外受精は 1995 年から実施されている（今年で 25 年目になる。）カザフスタンはかつてはソビエト連邦の一部だった。ソ連で最初に実施されたのは 1986 年だった。

Q. 1995 年に初めて体外受精が成功していますが、援助はありましたか？

モスクワだ。カザフスタンで最初にクリニックをオープンした時はソ連のサポートがあった。

カザフスタン生殖医学会の会長をしている。現在、ほかの地域の医師に養成課程を提供するトレーニングセンターを持っている。2004 年、リプロダクティブライツに関する法律がカザフスタンの議会に提出された。これらはカザフスタンのベストプラクティスガイドラインの基礎を形成した。

Q. 代理出産の依頼者のうち、カザフ人と外国人の割合は？

医療ツーリズムは全体の 10-11% で、90% はカザフスタン国内からの依頼者だ。

Q. 外国からの場合、どの国が多いでしょうか？

ほとんどが周辺諸国だ。（語尾に stan が付くほかの国々 タジキスタンやウズベキスタンなど）

Q. いつ頃から外国人依頼者が増えてきましたか？

2010 年頃から目立つようになってきた。しかし、もちろん、COVID-19 によるロックダウン以来は減っている。

Q. カザフで体外受精ができるクリニックは何施設あり、代理出産を提供している施設は何施設ありますか？

28 のクリニックで生殖補助医療を提供している。うち、2 施設が国立で、26 施設が私立だ。すべてのクリニックで代理出産を提供している。だが、積極的に取り組んでいるのはおよそ 7-8 施設だ。

代理母の募集活動や、斡旋をしているエージェントもいくつかある。

Q. 政府の省庁に、体外受精や代理出産などについての、レポートや統計はありますか？

政府が持っているデータは、保険適用された分だけだ。

カザフスタン生殖医学会では生殖補助医療の実施記録を持っている。ESHRE にも提出されている。



Q. 宗教の影響はありますか？

カザフスタンには生殖補助医療のプロセスを定めるプロトコルや法律がある。関係者（依頼者やドナーなど含む）権利についても述べられている。すべての権利が法律によって守られている。

カザフスタンはそれほど宗教的な国家ではない。イスラム教徒は保守的だが、この問題について特に強い見解を持ってはいない。もっと民主的だ。これまで問題になることもなかった。

Q. 配偶子提供や代理出産に対するカザフ国民の意見は？

現在は異性のカップルと独身女性のみが donor conception を受けることができる。統計的にカザフスタンで子どもを持つ女性のうち 25パーセントが donor-conception を利用し、シングルマザーとして子どもをもうけた。

Q. 出自を知る権利は認められますか？

出自を知る権利は認められていない。卵子/精子提供のうち 99 パーセントはクリニックを通して匿名で行われる。依頼者が自分たちでドナーを見つける場合には、知ることができるだろう。

過去にレジストリはなかったが、新たに始めているところだ。規則では一人の卵子ドナーから 4 人、一人の精子ドナーからは 10 人のみ出産可能としている。レジストリの制度が無かったら追跡するのも規則を守らせることも難しいだろう。

Q. 代理出産の場合、出生証明書は依頼者の名前で出されますか？

代理母の名前は出生証明書には記載されない。この時点では、誰が自分の代理母なのか知る方法はない。子どもが産科病院で生まれたら、関係は終了する。子どもが生まれたら、代理母の仕事も完了する。

Q. ムスリムのカザフ人カップルが代理出産を依頼することはありますか？ カザフの不妊カップルの間で、養子は好まれないのでしょうか？

依頼者の信仰宗教が問題になることはない。宗教は関係ないと思う。

ただ、養子縁組は好まれない。彼らが求めるのは、遺伝上の関係性だ。もしドナーが必要になったら、そこで中止するだろう。ムスリムのカップルは第三者が入ってくるのを好まないから。

Q. 今まで、外国人の依頼者で、子供のビザが取得できず帰国ではないなどのトラブルは聞いたことがありますか？ どのように解決されましたか？

中国人の依頼者がそのような問題に巻き込まれる例がある。カザフスタンの当局は、カザフスタンは代理出産の市場としてはまだ人気がないと考えていて、外国人依頼者のサポートに積極的ではない。

Q. ドイツやフランスなどでは代理出産は禁止されていますが、カザフで代理出産を依頼した場合に帰国はできますか？ カザフスタンの領事館は、子供へのビザ発給に関して、協力的でしょうか？

カザフスタンは代理出産を希望する西ヨーロッパからの依頼者にとって人気がある渡航先とはいえない。例えば、体外受精の場合、西ヨーロッパ出身の患者がカザフスタンで体外受精を受けるのは、すでに仕事でカザフスタンに住んでいるという理由があるから。

Q. 代理出産プログラムはいくらで、代理母が受け取る報酬はどのくらいでしょうか？

代理母が受け取る報酬は、12,000 米ドルから 20,000 米ドルの範囲。これに加えて、月 500 ドルを生活費として受け取る。



体外受精は、薬代も含めて全部で3,000ドルくらいでできる。

カザフスタンの平均月収は400ドルから600ドルなので、この報酬は魅力的だ。代理母はこの報酬で小さなフラットを購入したり、子どもの学費として貯金したりする。

Q. 代理母は、結婚している女性ですか？

結婚している・していないはどちらでもいいが、もし結婚している場合は、代理母の夫の許可が必要になる。また、代理母になれるのは2-3回までと決まっている。

Q. カザフスタン人が代理出産を依頼する場合、親族に代理母を依頼することはよくありますか？

たいていの依頼者は自分たちと何のつながりもない代理母を求める。しかし、もしより安価で行いたいのなら、親族から探すか、個人で対応してくれる田舎のほうで探すだろう。

昔は、依頼者の親族(姉妹とか母親)に依頼するのが結構あったと聞いたことがあるが、現在はそうではない。

Q. コロナの影響は？

はじめのロックダウン(2020年3月15日から約3か月間)の期間は完全に治療を停止した(新規に患者を受け入れいし、胚移植もしないなど)。6月に再開した。しかしCOVID-19のロックダウンで、現時点では外国人患者の受け入れは行っていない。

Q. 将来、外国人の利用が禁止になる可能性はあると思いますか？

わからない。カザフスタンでは政府の態度に大きな変化はない。

Q. 人権団体は、代理出産について、何か発言していますか？

法律ではまず、子どもの権利を何よりきちんと明確にする。依頼者の権利もまた守られている。だから代理母が子どもを渡さないという選択肢はない。

過去に、子どもが生まれる前に依頼者カップルが事故で亡くなったことがあった。しかしそれでも、子どもは依頼者の両親に渡された。

Q. 代理出産ツーリズムに対するカザフスタン政府の態度は？

議会のうち何人かが、カザフスタンにおける代理出産ツーリズムについて反対しているが、今のところ、海外の依頼者からの需要が低いので、彼らの議論はそれほど影響をもっていない。

Q. その他のコメント

カザフスタンではロシアと協力関係を築いて生殖補助医療を発展させてきた。周辺国のウズベキスタンでは2年前に体外受精が始まったばかりで、カザフスタンが指導している。この地域の他の国々についても同じだ。体外受精が導入されてまだ間もない。

(2021年7月)



Vyacheslav Notanovich Lokshin

[Link](#)

President of the Kazakh Association of the reproductive medicine, Managing director of the International clinic of the reproductology "PERSONA".

医学博士、教授、米国科学アカデミー通信会員、カザフスタン生殖医学協会会長、国際医薬品生産者協会会長

不妊治療の専門家で約40年の臨床経験を持つ。生殖医療分野の規制文書の作成にも参加協力した。国際誌“Reproductive Medicine”の編集長をつとめている。

論文:

Lokshin, Vyacheslav. (2021). Surrogacy -a worldwide demand. Implementation and ethical considerations. 2(2). 66-73.

Guseva, Alya & Lokshin, Vyacheslav. (2019). Medical conceptions of control in the field of commercial surrogacy in Kazakhstan. SALUTE E SOCIETÀ. 18. 26-43.